

# 平成 30 年度 ひたちなか市立田彦中学校 グランドデザイン

## 教育目標

自分を律し、他人を認めるとともに夢や希望をもち、一生懸命前進する生徒の育成

## 魅力ある学校づくり ～居場所づくり, 絆づくり～

授業に主体的に取り組んでいる 授業がよくわかる

組織目標：一人の子も一人にしない学校づくり

ひたちなか市  
教育振興スローガン  
夢 感動 笑顔が  
ひろがる 教育のまち  
ひたちなか

〈教育の指針〉 **夢をはぐくみ 志をもつ** 時を守り 場を清め 礼を正す



## 進 夢づくり 知 聴き合い学び合う

### 資質・能力の育成

## 徳 豊かな心

居場所づくり, 絆づくり

- ・生徒主体の行事運営
- ・QU をいかした学級経営
- ・学級目標を核にした学級経営
- ・生徒会活動の充実

## 体 健やかな体

体力向上への積極的な取り組み

- ・体育の授業, 部活動
- いのちの教育の推進と食生活の指導
- ・外部講師の活用
- ・生徒主体の活動

### 何ができるようになるか

○育成を目指す資質能力

- ・自分の考えや他者の思いを伝え合う(言語能力)
- ・問題を発見・解決する(情報活用能力)
- ・健康・安全・食に関する現代的な諸課題(対応力)

### 何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・自ら学び, 自ら考える学習態度と能力
- ・学習の見通しをもつ力
- ・課題を解決するための話し合いの仕方

### 子供の実態

- ・あいさつがよくできる子供が多い。
- ・授業に主体的に取り組もうとする子供が多い。
- ・基礎学力に不安がある子供がやや多い。

### 子供の発達をどのように支援するか

- ・教師と生徒、生徒同士の信頼関係をもとにした学級経営と生徒指導の充実(授業とQU等)
- ・一人一人に応じた学習課題や指導法の工夫, 教師間の連携と個別の指導計画, 不登校生徒への配慮

### 目指す子供の姿

- ・知識や技能を身に付け, 課題に対応できる子
- ・「主体的な判断の下に行動」できる子
- ・健康で, 最後まで頑張る子
- ・自分を見つめられる子

### 何を学ぶか

○学習の基盤となる資質・能力

- ・小学校教育の成果を受け, 9年間を通して必要な資質・能力を育てる。「魅力…」を核に合同研修会

### どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善
- ・見通しを立てたり振り返ったりする学習活動

### 実施するために何が必要か

- ・魅力ある学校づくりのPDCAサイクルの実施
- ・家庭や地域社会との連携と協働そして田彦小学校との連携

### 安心・安全を守る

- ・安全教育・防災教育の充実
- ・コンプライアンス研修の工夫

### 開かれた学校づくり

- ・授業参観出席率は, 魅力ある授業や懇談会を行い70%以上を目指す。・学校評議員、評価委員の活用

### スクールマニフェスト(数値目標)の設定

- 読書は, 冊数や内容について一人一人が目標を設定(30冊以上)し, 全員の目標達成を目指す。
- 学力診断テストで, 一人一人が各教科昨年度県平均比+1~10点程度の目標達成を目指す。
- 家庭学習時間は, 一人一人が昨年度比+30分程度の目標値の達成を目指す。
- Q-Uの学級生活満足群の増加と要支援生徒の減少を目指す。
- 新規不登校者数の減少を目指す。
- 体力テストにおいて一人一人が昨年度より高い目標を設定し, 全員の目標達成を目指す。